

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-087368

(43)Date of publication of application : 29.03.1994

(51)Int.Cl.

B60N 3/08
A24F 19/00

(21)Application number : 04-264193

(71)Applicant : SUZUKI MOTOR CORP
MAGATA FUJI KASEI KK

(22)Date of filing : 07.09.1992

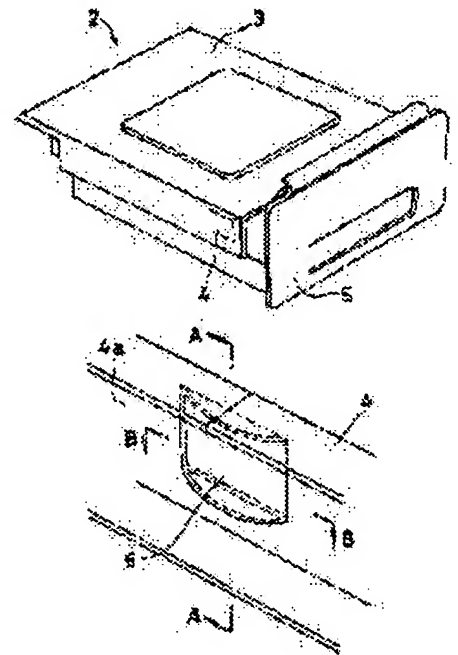
(72)Inventor : UMA MASARU
AKATSUKA SATORU
ARIMA TADAKATSU

(54) ASH TRAY FOR VEHICLE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an ash tray for vehicle capable of sliding its case main body at a constant operating force by eliminating a play produced in mounting of the case main body.

CONSTITUTION: An ash tray for vehicle 2 is provided with and composed of a guide case 3 fixed to an instrument panel, a resin-make rail member 4 which is installed inside the guide case 3 and in which a guide groove 4a is formed, and a case main body 5 which is engaged and held slidably on the guide groove 4a of the rail member 4 and provided protrudedly on the guide case 3. Then a protruded part 6 which can be deformed elastically and protruded toward the case main body 5 side is formed integrally with the guide groove 4 of the rail member 4 to press the case main body 5 held on the guide groove 4a of the rail member 4 by the elastically repulsive force of a protruded piece 6.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's]

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-87368

(43) 公開日 平成6年(1994)3月29日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 N 3/08		9334-3K		
A 2 4 F 19/00		K 7229-4B		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

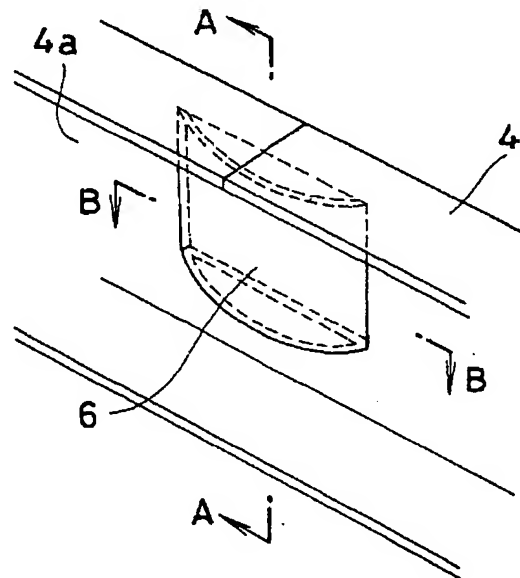
(21) 出願番号	特願平4-264193	(71) 出願人	000002082 スズキ株式会社 静岡県浜松市高塚町300番地
(22) 出願日	平成4年(1992)9月7日	(71) 出願人	592208079 マガタ富士化成株式会社 静岡県浜松市曳馬3丁目14番3号
		(72) 発明者	右馬 勝 静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式 会社内
		(72) 発明者	赤塚 悟 静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式 会社内
		(74) 代理人	弁理士 奥山 尚男 (外2名) 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両用灰皿

(57) 【要約】

【目的】 本発明の目的は、ケース本体を取付ける際のガタつきを無くし、一定の操作力でケース本体を摺動させることが可能な車両用灰皿を提供することにある。

【構成】 本発明の車両用灰皿2は、インストールメントパネル1に固定されるガイドケース3と、このガイドケース3内に取付けられ、かつ案内溝4aが形成された樹脂製レール部材4と、該レール部材4の案内溝4aに摺動可能に係合保持され、ガイドケース3に対して出沒自在に配設されるケース本体5とをそれぞれ具備して成っており、レール部材4の案内溝4aにケース本体5側へ向かって突出する弾性変形可能な突片部6を一体的に形成し、レール部材4の案内溝4aに保持されたケース本体5を突片部6の弾力力にて押圧するように構成している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体側に固定されるガイドケースと、このガイドケース内に取付けられ、かつ案内内部が形成された樹脂製レール部材と、該レール部材の案内内部に摺動可能に係合保持され、前記ガイドケースに対して出沒自在に配設されるケース本体とをそれぞれ具備して成る車両用灰皿において、前記レール部材の案内内部に前記ケース本体側へ向かって突出する弾性変形可能な突片部を一体的に形成し、前記レール部材の案内内部に保持されたケース本体を前記突片部の弾力にて押圧するように構成したことを特徴とする車両用灰皿。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、四輪自動車などの室内に設けられる車両用灰皿の改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、自動車のインストルメントパネルの中央部には、タバコの吸殻などを入れる灰皿が取付けられている。このような灰皿は、図9に示す如く、インストルメントパネルに固定されるガイドケース51と、このガイドケース51内に取付けられ、断面コ字状の案内内部52aが形成された左右一対の樹脂製レール部材52、52と、これらレール部材52の案内内部52aに摺動可能に係合保持される樹脂製ケース本体（図示せず）とをそれぞれ具備して成っており、当該ケース本体は、ガイドケース51に対して出沒自在に配設されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、上述した従来の車両用灰皿にあっては、レール部材52の案内内部52aが、図10および図11に示すように、面一で平坦面形状に形成されており、図示しないケース本体の係合部と面当たりする構造となっているので、当該ケース本体との間にガタつきを生じるという不具合を有していた。一方、このようなガタつきを無くそうとすると、上記ケース本体を摺動させる際の操作力が重くなって、操作性を悪くするおそれがあった。また、上記ケース本体の操作力を軽くしようとする、ガタつきが発生しやすくなるおそれがあった。

【0004】 本発明はこのような実状に鑑みてなされたものであって、その目的は、ケース本体を取付ける際のガタつきを無くし、一定の操作力でケース本体を摺動させることが可能な車両用灰皿を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記従来技術の有する課題を解決するために、本発明においては、車体側に固定されるガイドケースと、このガイドケース内に取付けられ、かつ案内内部が形成された樹脂製レール部材と、該レール部材の案内内部に摺動可能に係合保持され、前記ガイドケースに対して出沒自在に配設されるケース本体とを

それぞれ具備して成る車両用灰皿において、前記レール部材の案内内部に前記ケース本体側へ向かって突出する弾性変形可能な突片部を一体的に形成し、前記レール部材の案内内部に保持されたケース本体を前記突片部の弾力にて押圧するように構成している。

【0006】

【作用】 本発明に係る車両用灰皿では、ガイドケース内に取付けられる樹脂製レール部材の案内内部に弾性変形可能な突片部を一体成形しているため、取付時のガタつきを防ぐのに別部品を追加することなく、スプリング効果をもつ突片部によって当該レール部材の案内内部に保持されたケース本体の左右両側部を確実に押圧することが可能になる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明を図示の実施例に基づいて詳細に説明する。

【0008】 図1～図6は本発明に係る車両用灰皿の一実施例を示している。図において、1は車室内のフロント側に配設されるインストルメントパネル、2はインストルメントパネル1の中央部に取付けられる車両用灰皿である。この灰皿2は、インストルメントパネル1側に固定されるガイドケース3と、このガイドケース3の内側に取付けられる左右一対のレール部材4、4と、これらレール部材4、4に摺動可能に保持されるケース本体5とをそれぞれ備えている。

【0009】 上記ガイドケース3左右両側部は、金属板の左右両側を下方へほぼ直角に折り曲げることにより形成されており、これら左右両側部の内側面にはレール部材4の外側面が取付けられるようになっている。レール部材4は合成樹脂製であり、その内側面には開口を横向きに配置した断面コ字状の案内溝4aが形成されている。一方、ケース本体5はレール部材4と同様に合成樹脂製であり、タバコの吸殻などを収納するため、上面開口のボックス状に形成されている。また、ケース本体5の左右両側の外側面には、水平方向に突出しかつレール部材4の案内溝4aに嵌入されて係合保持されるスライド部（図示せず）が摺動方向に沿って設けられている。しかして、ケース本体5は、ガイドケース3に対して出沒自在に配設されている。

【0010】 また、上記レール部材4の案内溝4aの摺動縦壁面には、図4～図6に示す如く、樹脂材の弾性力を利用し得る弾性変形可能な突片部6が一体的に形成されている。すなわち、突片部6はレール部材4の一部をケース本体5側（開口側）へ向かって突出させることにより円弧状に湾曲形成されており、レール部材4の案内溝4a内に保持されたケース本体5の左右両側部は突片部6に圧接し、当該突片部6の弾力にて摺動方向と直交する水平方向に押圧されるように構成されている。

【0011】 なお、図3において7は補強板（ガゼットプレート）、8はケース本体5に配設されるプロテク

タ、9はプロテクタ8を上方へ付勢する巻ばねであり、このプロテクタ8は、ケース本体5を引き出すと同時に巻ばね9の付勢力にて押し上げられ、当該ケース本体5とインストルメントパネル1の取付部との間を遮断するようになっている。

【0012】本実施例の車両用灰皿2を組立てるに当たり、ケース本体5の左右両側部をレール部材4の案内溝4a内にそれぞれ押し込んで嵌入させると、左右一對の突片部6、6はケース本体5の両側面に圧接して弾性変形する。これに伴って、ケース本体5の左右両側部には突片部6の弾力が作用し、当該ケース本体5は突片部6により押圧された状態でレール部材4の案内溝4aに係合保持されて取付けられることになる。

【0013】このように本実施例の車両用灰皿2では、レール部材4の案内溝4aにスプリング効果をもたせた突片部6が設けられているため、該突片部6の存在によってレール部材4とケース本体5との間にガタつきを生じることなく、ケース本体5を一定の操作力で円滑に摺動させることができる。しかも、突片部6はレール部材4の案内溝4a内に一体成形されるため、部品点数および組立工数を増やさずにケース本体5を取付ける際のガタを防ぐことができるとともに、簡単な型構造で製作できる。

【0014】また、図7および図8は本発明に係る車両用灰皿の他の実施例を示している。図におけるレール部材4の案内溝4aの摺動縦壁面には、上記実施例と同様、樹脂材の弾性力を利用し得る弾性変形可能な突片部16が一体的に形成されている。すなわち、突片部16はレール部材4の一部をケース本体5側へ向かって切り起こすことにより、先端側が自由端でかつ基端側が固定端となっており、これによってレール部材4の案内溝4a内に保持されたケース本体5の左右両側部が突片部16の自由端16aに圧接し、当該基端16b側を中心に可動する突片部16の弾力にて摺動方向と直交する水平方向に押圧されるように構成されている。なお、突片部16の自由端16aは、これをケース本体5の左右両側部に圧接させて弾力を高めるため、当該ケース本体5側に膨出した形状に形成されている。その他の構成および作用は上記実施例とほぼ同様である。

【0015】以上、本発明の実施例につき述べたが、本発明は既述の実施例に限定されるものではなく、本発明の技術的思想に基づいて各種の変形および変更が可能である。

【0016】例えば、既述の実施例における突片部6、16は図に示す形状のものに限られず、レール部材4と一体成形可能で、かつ樹脂材の弾性力を利用し得る弾性

変形可能なものであれば、他の形状に形成してもよい。

【0017】

【発明の効果】上述の如く、本発明に係る車両用灰皿は、車体側に固定されるガイドケースと、このガイドケース内に取付けられ、かつ案内部が形成された樹脂製レール部材と、該レール部材の案内部に摺動可能に係合保持され、前記ガイドケースに対して出沒自在に配設されるケース本体とをそれぞれ具備して成り、前記レール部材の案内部に前記ケース本体側へ向かって突出する弾性変形可能な突片部を一体的に形成し、前記レール部材の案内部に保持されたケース本体を前記突片部の弾力にて押圧するように構成したので、前記レール部材にケース本体を取付ける際のガタつきを確実に無くすることが可能になるとともに、当該ケース本体を一定の操作力で円滑に摺動させることができ、組立ておよび取扱いが容易である。また、本発明の車両用灰皿では、ケース本体を押圧するために別部品を追加する必要がないので、部品点数および組立工数の増加や部品コスト高を招くこともなく、経済的にも有利である。しかも、上記した突片部は簡単な型構造で一体成形し得るので、型費が安価に済む。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る車両用灰皿が取付けられるインストルメントパネルを示す斜視図である。

【図2】上記灰皿を示す斜視図である。

【図3】上記灰皿を示す側面図である。

【図4】上記灰皿を構成するレール部材の突片部を拡大して示す斜視図である。

【図5】図4におけるA-A線断面図である。

【図6】図4におけるB-B線断面図である。

【図7】本発明の他の実施例に係る車両用灰皿を構成するレール部材の突片部を拡大して示す斜視図である。

【図8】図7におけるC-C線断面図である。

【図9】従来の車両用灰皿を構成するガイドケースとレール部材の関係を示す斜視図である。

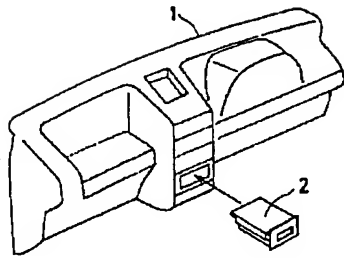
【図10】図9におけるD-D線断面図である。

【図11】図9におけるE-E線断面図である。

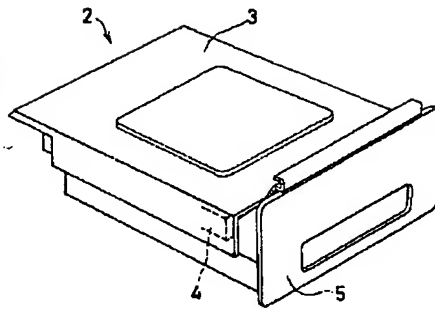
【符号の説明】

- 1 インストルメントパネル
- 2 車両用灰皿
- 3 ガイドケース
- 4 レール部材
- 4a 案内溝
- 5 ケース本体
- 6, 16 突片部

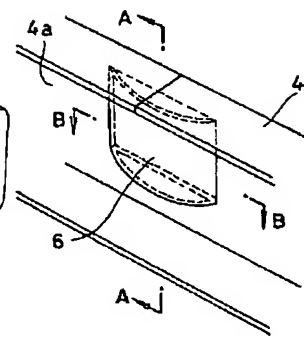
【図1】



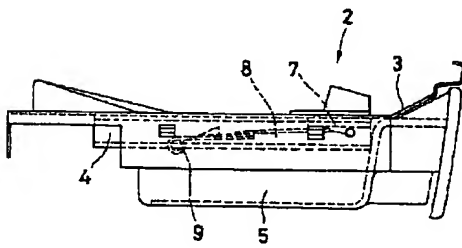
【図2】



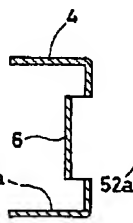
【図4】



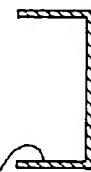
【図3】



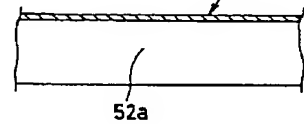
【図5】



【図10】



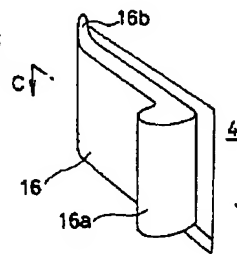
【図11】



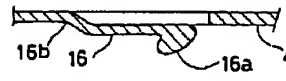
【図6】



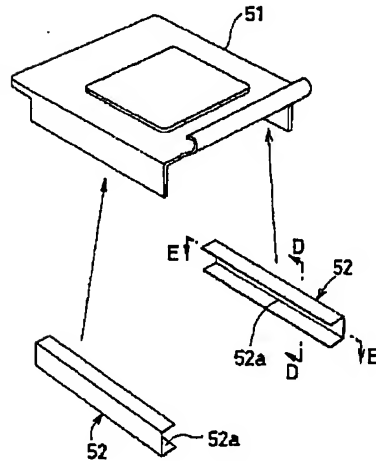
【図7】



【図8】



【図9】



(5)

特開平6-87368

フロントページの続き

(72)発明者 有馬 忠克
静岡県浜松市曳馬3丁目14番3号 マガタ
富士化成株式会社内